

エコチル調査に関する事業

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状について の評価・質問など	貴重なコホート研究が継続的に行われていることは、大変有意義である。高い参加継続率を保つために「エコチル調査だより」発行や HP アップデートなどの努力をしていることも評価できる。また、国際連携も継続的に行われ、研究成果の発信数も大きく増えている点も評価する。	引き続き事業と研究の推進に努めます。
	今後、被験者が 40 歳程度になるまで調査期間を延ばすことが環境省によって計画されているようだが、体制について知りたい。調査疲れが起こらないか、多少の懸念がある。	
今後への 期待など	長期的な視座に立ち、計画に従って着実に研究を進めている。質のそろった分析を継続する必要があるため研究員の確保が難しいと想像するが、人材育成も含めた精力的な取り組みを期待する。	長期的な調査であり、持続可能な研究実施体制となるよう、人材確保や育成を進めます。
	今後、多くの研究者（特に分野外の研究者）が利用できる利用しやすいプラットフォームの検討は重要であると思われる。データへのアクセス整備はルールの策定、データベースの作成など大変な作業になるだろうが、推進してほしい。	データの第三者提供につきましては体制整備を引き続き進めます。その中で、利用しやすいプラットフォームの検討を進めます。
	化学物質の複合汚染の影響評価について、新たな分析方法の確立も含めて研究成果を期待します。	化学物質の複合汚染の影響評価方法については重要課題として取り組んで参ります。
	これらの成果からの環境政策への提言を期待したい。	引き続き研究推進に努め、また、得られた成果の活用につきましては環境省とともに取り組んで参ります。